



野庭すずかけ小だより

12月号

横浜市立野庭すずかけ小学校

2023(令和5)年11月30日

TEL 842-3105

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/nobasuzukake/>

「活動を共にする」ということ

校長 幸柳 康弘

12月になると父から「正月は康弘が運んでくる」と言われたことを今でも思い出します。以前、東京都中央卸売市場（築地市場）にお世話になっていたことがあり、暮れになるとマグロやタイ、エビ、だし巻き卵などなど、様々な食材を買って帰ることが常になっていました。

築地市場は、当初の運搬が自動車であったことから駅舎に沿って何千もの仲卸業者が狭い路地に軒を連ね、ひしめき合っています。時代劇の長屋のような雰囲気があります。働く方々は、年齢や国籍も様々。経歴も元プロボクサーなど様々な経験をされてきた方が沢山いました。

年末年始は1年間の中でも最も多忙な時期で、各店が朝、競り落とした魚をさばき、指定された時間内に茶屋（方面別に区切られたトラックの集積所）へ商品を搬出しなければなりませんから大騒ぎです。路地には荷車やターレ（小型の電動荷車）が入り乱れ大混雑となります。信号や一方通行等の標識も無いのですが、不思議なもので自然と交通の流れができます。たまに威勢の良い声は聞こえますが、互いに手や仕草、目で挨拶を交わし、譲り合いながら阿吽の呼吸で動く姿に驚きました。始めたばかりの頃、慣れない自分を助けてくれた近所の店舗の方々の温かさも未だに覚えています。扱う品物は違えど仕入れた魚を台所へ届けるという目的は共通。年末の忙しさを互いに理解し、狭い中で助け合い働く方々の心の中にしっかりと目的が共有されていたように思います。

さて、学校でも、この秋様々な活動が展開されてきました。運動会や宿泊学習。遠足や社会科見学。稲刈りや芋ほり。日々の授業の中でもグループ学習等、友達と豊かにかかわり、共通の目的をもって取り組んできました。互いに声を掛け合い、時には相手の表情や雰囲気を察し、折り合いをつけながら取り組んだことと思います。豊かな人間関形が育まれ、児童会スローガン「すずかけ魔法陣」が大きく大きく輝いたことと、うれしく思います。

保護者・地域の皆様におかれましては、多忙な中、ご来校いただきました事に感謝申し上げます。引き続き、ご理解・ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

